

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

地域を育み、大陸をつなぐ
Building Communities, Bridging Continents
国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス



ロータリーを楽しもう
Enjoy Rotary
富津中央RC会長 原田 雅式

2010～2011

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2197 第35回例会 2011. 4. 7 曇

点 鐘：原田雅式 会長

進 行：須藤 隆 SAA

ソング：君が代、奉仕の理想

小に避難した方を支援したことで、今日の午後3時～4時頃佐久間市長がお礼に来るということです。佐貫小の入学式で会ったので、お断りしたのですが、防災の担当者とうとのことでした。

会長挨拶

原田雅式 会長



皆さんこんにちは、今日は佐貫小学校の入学式に、区長会と観光協会両方の代理人として出席しました。1時間足らずの入学式でしたが小学校へは55年ぶりで行き感動しました。

又昨日は2つのドラマがありました。先ず悪い話から、鼻づまりと耳の違和感があり君津の鮎沢耳鼻科に診察に行きましたが大変混雑しており3時間待ちの状態でした。そこで3つの病気が判明。1、鼻中隔湾曲症、2、耳管狭窄症、3、感音難聴で、びっくりして先生に難聴ってどの位悪いんですか？と、すると先生は普通の方が20とすると貴方は19～18.5程度の軽い難聴です。帰り道は、うなだれて帰ってきました。良い話というのは、3月11日の大震災の時佐貫

会長報告

本日の例会終了後、理事会を開催します。

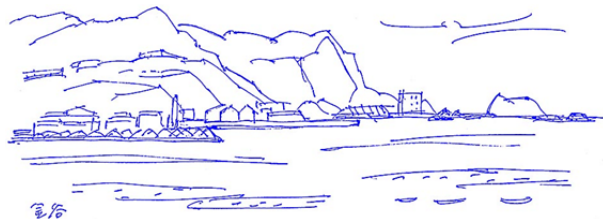
幹事報告

平川恵敏 幹事

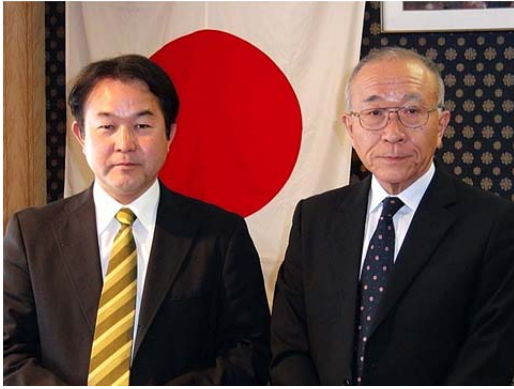


1. 例会変更
上総RC 4月7日(木)夜間お花見例会
時間：18:00
場所：正源寺
2. 会報受領
台南西RC
嘉義南RC (32周年特刊共)

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



誕生祝



渡辺 務 昭和36年4月25日

結婚祝



原田雅式・和子 昭和48年4月8日

小野恒靖・玲子 昭和41年4月17日

誕生日一言

渡辺 務 会員



皆さんこんにちは。誕生祝いありがとうございます。4月25日でとうとう50歳になります。

今年は念願の年下の会員、刈込さんが入会されたので最年少という立場ではなくなり少しほっとしています。

話は変わりますが先日、市役所の駐車場で70歳を超えようかと思しき老女に「富津漁港へ行く道を教えてください。」と声をかけられました。よくよく話を伺うと、仙台の南にある名取市で今回の大震災に被災し今は茨城の息子夫婦のもとに身を寄せているとの事。

車を見ると宮城ナンバーで中から日焼けしたしわくしゃ顔のおじいさんが出てきてお辞儀をしていま

す。どうやら老女の旦那さんの様。そしてその車の奥にチョココンとさらに年配のおばあさんが座っています。年齢を伺うともうすぐ100歳とか。

おじいさん曰く、名取で漁師として暮らしていたが今回の津波で船も家も流されてしまった。息子夫婦のところについて世話になるわけにも行かず、若い頃海の仕事で働いたことのある富津に記憶を頼りにきたのだそう。といっても知人や親戚がいるわけでもなく何の当ても無く来たとのこと。

実際に今回の大震災の被災者を目の当たりにして私はその老夫婦にかける言葉がありませんでした。「おじさん、いきなり漁港へ行っても無駄足になるといけないから市役所の水産課に相談してみたら？」と進言して市役所の担当課へ案内しました。

私は会議のためその場を離れましたが、その家族の事が気になり後日担当課にその後の状況を伺いに行きました。「市役所で水産関係の業者に照会をしてみる。」ということで相談にのってもらいとなり、住まいに関しては市内避難施設も利用可能との案内をしたとの事。その日はひとまず息子夫婦のいる茨城へ戻り、家族で相談してもう一度こちらに伺いたいと引き上げられたそうです。おじいさんは名取が復興するまで漁師の仕事を続けながら待ちたいという希望があるそうで、なんとかその希望に添える仕事が見つかればと祈るばかりです。

このような被災者が何万人もいるという今回の震災の被害の大きさと問題の深刻さを痛感させられた出来事でした。

結婚記念日一言

原田雅式 会員



お祝いを頂いてありがとうございます。

今年で37年になります、2人で良く持ったと話しております。先程の話ではありませんが耳鼻科で軽い難聴などと言われてショックを受けました。人間ドックを毎年受けておりましたが、定年後は少しいい加減になっております。又毎年ドックをうけるなど気をつけていきたいと思っております。

小野恒靖 会員



結婚が早い方だったので、今年で45回目の記念日です。病院でレントゲン技師をしている時に

結婚し、整骨医修行10年で大貫に来ました。

病院時代は友人とバンドを作り音楽三昧でしたが、今は女房と卓球指導を楽しみながら仕事に励んでいます。

委員会報告

ロータリー財団・米山記念奨学会委員会

志波 克 委員長

3月に拠出頂いたR財団への寄付金を4月5日に新納付先の「公益財団法人 ロータリー日本財団」へ送金しました。

送金明細書の写しを回覧しますので、ご自分の欄をご確認下さい。レートは80円/ドルです。

税制優遇措置を受ける確定申告用領収書は7月末にクラブにまとめて来ますので、到着次第お配りします。なお、優遇措置は4月1日から始まりましたので、今回分から対象となります。

クラブ管理運営委員会

若鍋武良 親睦担当部長

お気づきのことと思いますが、この度親睦委員会後援で当会場の後ろにコーヒーコーナーが設置されました。

週替わりでブランド、ブレンドの異なる上質品がサービスされます。一杯300円でお楽しみ下さい。



卓話

『見えるものと見えないもの』

—安心と安全・大震災の事例から—

三枝一雄 会員



はじめに

皆さん、テレビやマスコミを連日賑わしているニュースは3月11日に起こった未曾有の大災害、東日本大震災とそれに伴って生じた原子力発電所の損傷、大量の放射線漏洩の被害であります。

私は2万人を越える死亡、もしくは行方不明者に深く哀悼の気持ちと家族・被災者の心身のご苦勞を充分お察しするつもりですが、現在の報道は放射能汚染に関心が移り、いささか過剰な不安を国民に起こしているように思われます。そこで、今日は見えないものへの不安から風評被害による異常な社会現象を起こしていることに目を向けて、まず「見えるものと見えないもの」さらに「安心」と「安全」の問題を論じてみたいと思います。

1. 見えるものと見えないもの

われわれの意識の中には「見える世界」と「見えない世界」の二つがあります。人類は未開な時代からつい20世紀の初めまで、そのバランスを取って生活していました。即ち「見える世界」で狩猟や農業で飢えを凌ぎ、「見えない世界」で神を祭り、収穫に感謝して暮らしていました。ところが近代文明は、夜間もこうこうと光を灯し、産業は進歩し、テレビや携帯電話、インターネットの普及により「見える世界」が「見えない世界」を圧倒してしまいました。

つまり「宗教」「哲学」「倫理道徳」への関心が薄らぎ、その結果、日常生活から「感謝」「畏敬」「おもしろい」等という観念が、形式に流れて、自己中心的な経済優先の価値観が社会を支配するようになってしまいました。今や「清貧」という言葉は死語となり、人の富をうらやむ心の貧しい人が多くなりました。も

つとも、人をうらやむこと事態が真実を知らないからであり、例えば他人が持っていると羨ましくなり、自分が持ってみると始末に困るのが、セカンドハウスとセカンドワIFEだそうであります。

余談はさておき、今回の災害はある面では「感謝」「互助」「つつしみ」「わきまえ」といった日本人が本来持っていた「目に見えない」高い価値観が被災者の姿から報じられ、外国のメディアが尊敬と驚嘆をしたと伝えられています。これなど、危機に瀕して出る日本人の底力、東北人の忍耐強さを見せつけられ、一層多くの支持者が増えて復興に拍車がかかるものと思われます。

いたずらに不公平、不平不満を声高に言うても、国家や東京電力を責めてみても事態がすぐ解決することはありません。良い心が良い心を曳き出します。あのソフトバンクの孫社長も個人で百億というお金をボンと出してくれました。私は、この災害によって「見える世界」と「見えない世界」が見事にジョイントして復興の足がかりを得たと思っています。

電気のない闇が心を照らし、携帯電話が繋がらないことで、肉親の心の叫びを聞き留めました。寒さが肌にしみて人の情けの暖かさをより思い出させたのです。

2. 情報によってかき立てられる不安

地震・大津波、それに追い討ちをかけたのが放射能の不安です。毎日報道は00シーベルト、00ベクレルとよく分からない数字ばかりが出てきます。人体に今すぐ影響はない？、毎日食べなければ野菜も心配する影響は出ない？、ミネラルウォーターがなければ、水道水でミルクを解いてもいい。それよりも脱水の方が赤ちゃんに悪いのだ。放射能で海が汚染されても海は広いから魚は大丈夫だ。回遊魚ならいい。すこしずつ放射線が体にたまったらいつか癌になるのか。大丈夫？。

テレビに出てくる専門家は絶対に安全だと胸を張って保証してくれません。私たちは安全を担保出来る正しい情報が欲しいのです。それが無いからイライラする。知りたいといってテレビやインターネットにかじりつき、知ったらかえって安心がなくなるのです。この矛盾について考えてみましょう。それが「安心」と「安全」のちがいのなのです。

3. 安心と安全

まず「安心」とは文字通り、心の問題です。だから「主観的」「個人的」むしろ「非科学的」「直感的」「情緒的」といってもよいでしょう。新派の舞台で地震が起こったら皆、水谷八重子(先代・故人)の傍にすり寄ったそうです。尊敬する人、お徳のある人、信頼するカリスマ、スーパーマンの傍なら安心だというのは理屈ではなく信仰に近いものでしょう。わが心の持ち方で安心は決まるものです。釈迦・キリスト・孔子あるいはソクラテスといった世界の聖人達は皆、天や神と心をつないで安心立命の境地にあったのでしょ。一方、安全は「客観的」「科学的」で立証する根拠が必要です。誰にでも当てはまる普遍性があり、安心が「個人的」であるのに対して「社会的」と言えます。これを現在の原子炉事故にあてはめて考えてみましょう。

4. 原子力・放射線

そもそも原子力発電所とは、火力や水力のエネルギーに替えて桁違いに大きい核エネルギー(核分裂・核融合の時に放出される。原子核内の陽子と中性子を結びつけているエネルギーに由来する)を用いて電気を起こし、各家庭や職場に電力を届ける大本です。効率も大きい反面、事故や危険も大きいということは誰でも承知しています。それが事故で核爆発を起こせば大変なことになるし、放射性的物質が洩れ出すだけでも環境汚染や人体に悪影響を及ぼすことが恐れられています。かつてチェルノブイリの事故やスリーマイル島の事故がよく知られています。日本では科学技術が発達しており絶対安全というお墨付きで原子力を平和利用として取り入れました。しかし、この絶対安全であるはずの福島原子力発電所がもろくも震災と津波で放射線が洩れるという事故を起こしてしまったのです。安全神話がなくなると安心がなくなります。発電所の周辺ばかりか、全国に不安が広がりました。

それでは放射線とは何でしょうか。簡単に説明すれば高いエネルギーを持った電磁波や粒子であり、物質を通過する性質があります。いずれも放射性元素の崩壊に伴って放出されるもので、一般に α 線・ β 線・ γ 線の3種を言いますが、同様のエネルギーを持つ宇宙線等も含まれています。 α 線はヘリウムの原子核、 β 線は電子または陽電子から成る

粒子線、γ線は非常に短い電磁波であると説明されています。いずれも写真作用や蛍光作用を示すので、医学やその他でも広く応用されています。放射能を持つ、即ち放射線を出す物質は、今ニュースで報道される沃素 (I131・132・134)、セシウム (Cs134・136・137) やウランが有名です。蛇足ですが、このウランから放射性物質が出ていることを発見したのはフランスのベクレルでノーベル賞を貰いました。そこで放射線のことをベクレル線と呼んだり、今も放射能の強さを表す単位として使われています。(1秒間に1回崩壊する放射能の強さが1ベクレル) 現在や野菜や食べ物の汚染度をみるのにこの単位がつかわれる。(1キュリーは 3.7×10^{10} ベクレル) もうひとつ、シーベルト(記号 Sv) という単位がよく使われますが、これは放射線が人体に及ぼす影響を表す単位です。(これもスウェーデンの学者の名前からとったもので 1Sv は 100 レム。1 ミリシーベルトは 1000 分の 1 Sv, 1 マイクロシーベルトはさらにその 1000 分の 1)

5. 人体への影響について

まず実感として人間は宇宙や地面の放射線を1年間に平均1ミリシーベルト浴びていると覚えるのが第一であると館野之男博士はその著「放射線と健康」(P46) で述べています。同博士によると放射線は大昔から何処にでもあるそうです。例えば宇宙から降って来る放射線は見えないだけで、雨あられと降って来ている。地表で1平方メートルに1分間に1万個近く放射線の粒子が飛んで来て、音もなく我々の体を通り抜けているのだそうです。見えないのが幸い、見えたら目を開いていられないかもしれない。

「見えない世界」を科学が教えてくれるのです。宇宙線は1500米高くなると約2倍になる。高地に住む人は余計放射線を浴びている。(年間海面で0.27 ミリシーベルト、世界平均 0.39 ミリシーベルト) 飛行機で飛ばせば当然数値は高くなります。産経新聞(平成 23. 3. 30) 記事によると、東京一ニューヨーク航空機旅行往復で190マイクロシーベルト。胸部X線集団検診が50マイクロシーベルトですから比較して御覧下さい。(別表) また館野氏の文献では全身に250ミリシーベルトの放射線を浴びてもその程度の照射では臨床症状は出てこないと述べています。どうも数字ばかり書き並べると頭が痛くなり

そうなので、すこしアバウトなお話にします。

6. 数字に基づかない話

原子力が問題になるまでのX線の障害は皮膚炎、白血球減少が問題でした。戦中・戦後の医師や放射線技師たちは実に勇敢に放射線を浴びて仕事をしていました。骨折患者の整復の為に素手で長時間透視をして指に難治性の潰瘍を作り、癌化して指を切断した先輩、中には他臓器に癌が転移して死亡した先輩も身近にありました。それでも、ひるむことなく仕事を続けました。私自身も開業当時は胃のX線透視の際、素手でおなかを押したりして毎日 4~5 人は撮っていました。途中からX線テレビが普及して助かりました。今は厳しく健康チェックがおこなわれて心配はありません。また多くの放射線を浴びた先輩医師達は結婚して子供も出来て奇形児が生まれたこともありません。ただし、女の子が多くY染色体がダメージを受けたという俗説もありましたが科学的根拠はありません。私たちは放射線を怖いものと思わずに、仕事をしていました。遺伝と発ガンの調査でも確実な相関がはっきりしないようです。それではどうして、避難したり汚染された野菜等が出荷停止になるのでしょうか。原子爆弾が落ちたとか、原子炉に核爆発が起こったら話は別にして、福島原発事故の現状から言えば、作業員はともかく、一般人の危険はそれほど差し迫った問題ではないと、個人的には考えます。極論かもしれませんが、野菜は洗えば放射線の灰は落ちますし、窓を閉めて家にいれば大丈夫です。しかし、100%安全かといわれるとそれは科学的には断言出来ないのが実状です。

国や担当の専門科学者はもしもの場合を含んで安全基準のハードルを高く設置して国民の健康と身体の安全を守る義務があるからです。話を戻せば、安心は個人的、安全は社会的です。車の安全運転を考えれば、40キロ速度制限が必要ですが、殆ど誰もまもっていません。事故がこわいのではなく、お巡りさんに捕まるのがこわいのです。放射線を論じて、発ガンや健康被害を考えるならば、たばこの方が、発ガンの危険性はより大きいでしょう。でも政府はたばこを許可しています。たばこの害を説いて分煙さえ徹底させれば、後は個人の問題だからです。他人に迷惑をかけずに安心してたばこを吸

っている人は無理に止めさせようがありません。責任は個人持ちです。しかし、極めて頻度は高くないにせよ、放射線被害は否応なしに誰にもやって来る時にはやってきます。だからといって、個人でじたばたするよりも健康被害から守る責任は、学者や行政に任せて、もうすこしおおらかに考えてもいいのではないのでしょうか。まして必要以上のものを買溜したり、必要以上に現地の産物を恐れて買い控えをするなど、日常の生活に多くの人が迷惑します。経済生活にも影響が出始めます。もうすこし考えを替えて安全より安心な生活を心がけたいものです。

むすび

以上私は現今の大震災と原発事故による放射線の影響を考え、「見えるもの」「見えないもの」との握手、バランス感覚を身につけることの大切さを論じて来ました。現代社会に見失って来た「感謝」や「おもいやり」に目を向けることが、今回の不幸中の幸いとして日本が再起するきっかけになると思いよき日本人の、よき東北人の心に光を見出した感があります。なお「安心は心にあり、安全は形にあり」この両者の違いをしっかりとわきまえ、安心の為には心の訓練を、安全の為には科学的知識と正しい情報をつかんで日々平常心でバランスをとって生きること、日々右顧左弁せず東洋思想の「中庸」を得てものごとに対応することが望ましいことを、放射線の問題を例として述べさせて戴きました。ご清聴を感謝致します。

ニコニコBOX

刈込一弥 親睦担当委員

*渡辺 務 誕生祝を頂いて。

*原田雅式 結婚祝を頂いて。

*小野恒靖 // //

三枝一雄 久しぶりに卓話をさせて頂いて。

若鍋武良 姉妹都市カールスバッドへの親善訪問から無事帰国しました。

千葉一利 川柳が「友」に載りました。3回目。

*>1,000 合計 9,000 円

出席報告

大須賀三智男 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21/21	17	4		80.95%
前回	21/20	16	4		80.00%

理事会報告

1. 4月例会プログラム

4/14 会員卓話 若鍋、渡辺

4/21 観葉例会 石渡庭園 3:00点鐘～

4/28 会員卓話 大須賀、永島

5/12 地区協議会報告、会員卓話 榎本

2. 地区協議会配車(4/24) ○印:車提供者

○若鍋、原田、石渡、千葉

○高橋、小野、須藤、刈込

○榎本(早朝出席のため単独)

あとがき:

会報の原稿は、紙、ファックス、メールで頂戴していますが、先日来自宅のファックスが不具合で、紙面半分が読み難くなりました。家庭用のファックス機はどれも壊れやすいので、値段の安いブラザーのFAX複合インクジェット・プリンター(一寸奮発してA3)を購入しました。

丁度、三枝会員の卓話原稿をキャノワードのフロッピーとB4紙印刷の両方で頂きましたが、やはりフロッピーは只では読めず、早速A3スキャナーの出番となりました。

B4紙も余裕のスキャンでOCRは楽々出来上がりワード・ファイルになりました。A3プリンターとしては少し不満のあったこの複合機に大感謝です。

三枝会員の『見えるものと見えないもの』は、何か聞き覚えがあると思ったら、村山斉著「宇宙は何でできているのか」幻冬舎新書に“見えないものの重力が空間を曲げるため光が曲がり、見えるものの位置が変わるので、見えないものが見えるのです。”という様な事が書かれていました。

そばにいただけで安心感がある様な人はその徳で空間を曲げ、人の心を安心に導くのでしょうか。私も三枝会員の言葉に従い、心の訓練に精進したいと思います。(しば)